

定例記者会見 市長あいさつ・説明

令和6年2月9日 午後3時30分～
佐久市役所 8階大会議室

報道関係の皆様には、大変お忙しい中、定例記者会見にお集まりいただきまして、誠にありがとうございます。

本日の記者会見は、「令和6年佐久市議会第1回定例会」に提出する議案の概要を中心に、ご説明を申し上げます。

はじめに、今回提出する議案でございますが、資料1のとおり、条例案12件、事件案8件、予算案22件、合計42件でございます。

時間の制約もございますので、主なものをご説明申しあげます。

最初に、条例案の 主な3点について申し上げます。

資料1の10ページをお願いいたします。

議案第7号、「佐久市特別養護老人ホーム複合型施設条例の一部を改正する条例の制定」につきましては、佐久市特別養護老人ホームシルバーランドみつい における短期入所 生活介護事業の定員を減少し、待機者の多い長期入所の定員を増加するとともに、通所介護事業であるデイサービスセンターの定員を減少し、より小規模な利用者で運営する地域密着型 通所介護事業として実施するため、必要な事項を改めようとするものであります。

なお、本案は、本年4月1日から施行しようとするものであります。

11ページをお願いいたします。

議案第8号、「佐久市介護保険条例の一部を改正する条例の制定」につきましては、市の第9期介護保険事業計画に基づき、第1号被保険者間での所得再分配機能を強化し、低所得者の 保険料上昇の抑制を図るため、第1号被保険者に係る保険料について、所要の改正を行おうとするものであります。

なお、本案は、本年4月1日から施行しようとするものであります。

15ページをお願いいたします。

議案第11号、「佐久市病院事業の設置等に関する条例の一部を改正する条例の制定」につきましては、病院事業に病院の経営企画を担う補助組織を新たに設置するとともに、介護療養病床を廃止することによる病床数の変更 及び大腸・肛門外科を新たに診療科目に加えるものであります。

なお、本案は、本年4月1日から施行しようとするものであります。

条例案につきましては以上です。

次に事件案について、主なもの3件について申し上げます。

17ページをご覧ください。

議案第13号、「モンゴル国ウランバートル市スフバートル区との姉妹都

市の提携」につきましては、友好都市として交流を深めてきたスフバートル区と姉妹都市の提携をしようとするものであります。

35ページをお願いいたします。

議案第19号、「訴えの提起」につきましては、長期にわたり市営住宅家賃を滞納している市内居住者1名に対しまして、督促状の送付、訪問、来庁要請等の様々な方策を講じてまいりましたが、徴収が困難な状況が継続し、納入等 ご対応いただけない状況にありますことから、市営住宅の明渡し 及び 滞納家賃等の支払に係る 訴えの提起をすることにつきまして、議会の議決をお願いするものであります。

なお、相手方のプライバシーの保護に配慮する必要がありますことから、氏名、住所を非公表とさせていただきますので、ご了承くださいますようお願いいたします。

36ページをお願いいたします。

議案第20号、「医療事故に係る 損害賠償の額を定める こと」につきましては、令和元年9月、浅間総合病院において智歯拔歯術時の拔歯 及び 右側舌下面損傷により、舌神経麻痺等を発症し、治療を行うこととなった医療事故につきまして、東京都在住の相手方と合意に達しましたので、損害賠償の額を定めることについて、議会の議決をお願いするものであります。

損害賠償の額は、320万円とし、佐久市が相手方に当該額を支払うことにより、和解するものであります。

なお、損害賠償金につきましては、今議会に提出いたします 令和5年度 国保 浅間総合病院事業特別会計 補正予算（第3号）に計上いたしております。

また、本件につきましては、相手方のプライバシーの保護に配慮する必要がありますことから、氏名、住所を非公表とさせていただきますので、ご了承くださいますようお願いいたします。

事件案につきましては以上でございます。

続きまして、予算案について申し上げます。

はじめに、令和5年度の一般会計補正予算案についてご説明いたします。別冊1をお願いいたします。

2ページをご覧ください。

議案第21号、令和5年度一般会計補正予算（第12号）は、歳入歳出予算の総額に、15億9,811万9千円を追加し、総額を534億778万9千円にしようとするものであります。

これは、国の物価高騰対策を受けての低所得世帯への給付金及び国の補正予算事業に採択されたことに伴う小中学校の空調整備に係る経費の補正であります。

3ページ「歳入」の事項別明細書をご覧ください。

15款の国庫支出金は、「物価高騰対応 重点支援 地方創生臨時交付金」及び「学校施設 環境改善交付金」です。

19款 繰入金は、小中学校の空調設備 整備工事に伴う「小・中学校施設整備基金」からの繰入金です。

次に4ページをご覧ください。

「歳出」の事項別明細書です。

詳細は、次のページの「補正内容」でご説明します。

5ページをご覧ください。

民生費の「物価高騰対応 重点支援給付金 納付事業費」は、市民税所得割非課税世帯 及び それに準ずる世帯に対して1世帯当たり10万円を、また、市民税の均等割非課税世帯、所得割非課税世帯及びそれに準ずる世帯に対して 児童1人当たり5万円を速やかに支給するための経費です。

教育費の、「小学校施設整備事業費」及び「中学校施設整備事業費」は、1月30日付で国の補正予算事業に採択されたことに伴う空調設備整備に係る工事費の増額です。

6ページをお願いいたします。

第2表 繰越明許費補正は、「国の制度設計上、次年度に渡ること」

及び「国の補正予算事業の採択を受け、事業年度を前倒したこと」などにより年度内完了が困難となった事業など、追加3件です。

7ページをお願いいたします。

第3表 地方債補正は、追加1件です。

なお、本案につきましては、議会最終日の議決では、国から求められております、本年度中の給付金の支給開始に間に合わないこと、また、空調設備の整備についても、できるだけ早く学校環境の改善を行う必要があるため、議案の提出日であります、議会初日に議決をお願いするものであります。

一般会計補正予算(第12号)の補正内容は以上です。

次に、別冊2をご覧ください。

2ページをお願いいたします。

議案第22号、令和5年度一般会計補正予算(第13号)は、歳入歳出予算の総額から18億4,441万5千円を減額し、総額を515億6,337万4千円にしようとするものです。

3ページ「歳入」の事項別明細書をご覧ください。

主なものについて申し上げます。

1款 市税は、調定見込み額の増額による補正です。

15款 国庫支出金は、事業費の確定等に伴う減額のほか、物価高騰対策に係る事業実施のための「物価高騰対応 重点支援 地方創生臨時交付金」及び 私立保育所に対する委託料の増額に伴う「施設型給付等交付金」などの増額です。

次に4ページをご覧ください。

「歳出」の事項別明細書です。

詳細は、次のページの「主な補正内容」でご説明します。

5ページをご覧ください。

総務費の「人事管理費(No.3)」は、定年延長に伴い退職金による財政負担の平準化を図るため、基金利子なども含めた 退職手当基金への積立金です。

6ページをお願いいたします。

民生費の「老人福祉施設事業費(No.15)」は、電気料等高騰の影響を受けた指定管理者を支援するための交付金及び基金利子の積立金です。

7ページをお願いいたします。

「子ども未来館管理事業費(No.23)」は、電気料等高騰の影響を受けた指定管理者を支援するための交付金です。

農林水産業費の「農業生産振興事業費(No.30)」は、令和6年1月か

ら3月までを対象期間とした配合飼料価格高騰対策事業補助金などです。

8ページをお願いいたします。

商工費の「中小企業対策事業費(No.33)」は、原油価格高騰の影響を受けた市内運送業者支援のための給付金及び基金利子の積立金です。

「観光施設管理運営事業費(No.34)」及び「プラザ佐久管理運営事業費(No.35)」は、電気料等高騰の影響を受けた指定管理者を支援するための交付金などです。

9ページをお願いいたします。

消防費の「防災対策事業費(No.47)」は、令和6年能登半島地震の被災地支援に伴う消耗品・備蓄用 食料等の追加購入に係る増額及び基金利子の積立金です。

教育費の「大工原朝代記念基金事業費(No.48)」は、対象児童・生徒数の確定見込みによる入学卒業支援金の増額及び基金利子の積立金です。

10ページをお願いいたします。

「文化振興総務費(No.51)」及び「体育施設管理運営事業費(No.55)」は、電気料等高騰の影響を受けた指定管理者を支援するための交付

金及び基金利子の積立金です。

11ページから14ページをお願いいたします。

第2表 繰越明許費補正は、「資材調達の遅れ」や「用地取得等に不測の日数を要したこと」及び「国の補正予算事業の採択を受け、事業年度を前倒したこと」などにより年度内完了が困難となった事業など、追加20件、事業費の確定見込みに伴う変更1件です。

15ページから16ページをお願いいたします。

第3表 債務負担行為補正は、変更7件、廃止1件です。

17ページから18ページをお願いいたします。

第4表 地方債補正は、限度額の変更12件、廃止2件です。

一般会計補正予算(第13号)の補正内容は以上です。

19ページから21ページは、特別会計に係る補正です。

補正予算(案)の説明につきましては、以上です。

次に、議案第33号 令和6年度当初予算(案)につきまして、お手元に配布の 別冊3 「令和6年度一般・特別会計予算(案)説明資料」でご説明します。

はじめに、「予算編成の基本的な考え方」を申し上げます。

2ページをご覧ください。

令和6年度当初予算編成においては、第 2 次佐久市総合計画の将

来都市像である「快適健康都市 佐久」の実現に向け、時代のニーズに沿った施策を柔軟かつ的確に実施し、市民福祉・市民満足度の向上を図るとともに、それを支える財政基盤の健全性の堅持に努めることを基本方針としております。

次に3ページをご覧ください。

当初予算(案)の特色について申し上げます。

将来にわたり持続可能で安定した行財政運営を実現するため、健全財政を堅持しつつ、第二次佐久市総合計画後期基本計画の重点プロジェクトとして位置付けられた3つのプロジェクトの各分野の取組に重点配分するとともに、国の動向及び本市をとりまく社会経済情勢を踏まえ、「少子化と人口流出の抑制に向けた切れ目ない子育て支援策の充実・強化」、「持続的な成長を可能とする経済社会の現実に向けたDX・GXの推進」、「地域の特徴ある発展と均衡ある発展に向けた中山間地域の維持・創生」の3つの柱を掲げ、優先・重点的に予算を配分しました。

また、現在策定中の佐久市デジタル田園都市国家構想総合戦略の着実な推進に資する事業枠、加えて、令和7年4月1日には新佐久市誕生から20周年の節目を迎えることから、市民の更なる一体感の醸成が図られるよう、新佐久市誕生20周年を記念する事業枠も掲げ、

これらも特に積極的に取り組むべき事項として優先的・重点的に予算を配分しました。

次に10ページをご覧ください。

「当初予算案の規模」ですが、一般会計の当初予算(案)の総額は498億円で、前年度当初予算との比較では、額で26億円、率で5.5%の増です。

特別会計【9会計】の予算(案)の総額は、380億9,555万5千円で、前年度当初予算との比較では、額で6億6,787万2千円、率で1.8%の増です。

次に、23ページをご覧ください。

令和6度当初予算における主要事業について、新規と拡充事業を中心には、総合計画7項目の政策分野に沿いその概要を申し上げます。

24ページをご覧ください。

項目1「生涯にわたり学び、生きる力を育むまちづくり」です。

1番「岩村田高等学校創立100周年記念事業補助金」は、岩村田高等学校創立100周年記念事業に対する補助金です。

5番「浅間地区小・中学校あり方検討事業」は、児童生徒数の増加に伴う浅間地区の今後的小・中学校のあり方を検討するための経費です。

25ページをご覧ください。

13番「浅間中学校増築事業」は、浅間中学校の生徒増加に対応するため、教室等の増築に係る経費です。

26ページをご覧ください。

16番「小池勇助軍医顕彰事業」は、沖縄県糸満市の「糸洲の壕」に係る学習環境整備に係る経費です。

17番「第4次佐久の先人選定・顕彰事業」は、第4次佐久の先人の選定・公表に係る経費です。

27ページをご覧ください。

27番「スポーツ振興イベント開催事業」は、今年度に引き続き、佐久平ハーフマラソンを開催するほか、新佐久市誕生20周年記念のプレ・イベントとして、大相撲佐久場所の開催を予定しています。

28ページをご覧ください。

30番「学校給食費 物価高騰対策事業」は、給食材料費の価格高騰に伴う給食費の保護者負担軽減のための補助経費です。

次に29ページをご覧ください。

項目2「地域の特徴を生かしたつながりあるまちづくり」です。

2番「地域公共交通運営事業」は、デマンドワゴンさくっとの運行経

費などのほか、JR臼田駅の「みどりの窓口」閉鎖に伴い、営業日等の縮小を図りながら窓口営業を継続するための経費です。

5番「社会資本整備総合交付金道路整備事業」は、常田・赤岩線、武道館アクセス道路等の整備に係る経費です。

30ページをご覧ください。

9番・10番の「都市構造 再編集中 支援事業」は、野沢地区では、県民佐久運動広場跡地の整備、中込地区では、中央グリーンモール、サングリモ中込の再整備に係る経費です。

11番「佐久平駅周辺再整備基本計画策定事業」は、佐久平駅周辺の再整備を検討するためのワークショップ開催に係る経費です。

31ページをご覧ください。

16番「相続人不存在空家等対策事業」は、法定相続人が不存在で管理する者がいない空家の対策を進めるための財産管理人選任申立に係る経費です。

次に32ページをご覧ください。

項目3「力強い産業を営む活力と魅力あるまちづくり」です。

1番「デジタル人材育成・就労支援事業」は、地域で活躍するデジタル人材の育成と就労支援を強化していきます。

4番「佐久産酒米安定生産構築事業」は、佐久地域の特徴を生

かした酒造りによるブランド化を図るための高品質な酒米生産体制の構築に係る経費です。

6番「ゆうき産地づくり構想推進事業」は、地域の特徴ある発展として、望月地域を起点とした有機農業等循環型農業の産地形成の推進を図るための経費です。

33ページをご覧ください。

7番「水田フナ養殖生産振興事業」は、水田フナ養殖文化の継承、生産者数と生産量の増加を図るための補助経費です。

8番「有害鳥獣駆除事業」は、新たに、ICTを活用した鹿捕獲を進めるなどの有害鳥獣駆除に係る経費です。

12番「商業振興事業」は、3ビズ事業の運営や、空き店舗対策事業補助の拡充など、商店街の活性化のための経費です。

13番「中小企業対策事業」は、中小企業のエネルギーコスト削減に向けた取組を支援するため、設備の更新に対する助成金などです。

34ページをご覧ください。

14番「企業動向調査分析事業」は、産業振興及び企業立地を促進するため企業ニーズの動向調査に係る経費です。

15番 「企業経営強化支援事業」は、産業支援機関の運営に係る

負担のほか、企業の経営基盤強化などのため、インターンシップ等を進めてくいための支援に係る経費などです。

19番「佐久千曲川大花火大会共催事業」は、佐久市観光協会主催の伝統イベントに対する共催のための経費です。

次に、35ページをご覧ください。

項目4「豊かな暮らしを育む健康長寿のまちづくり」です。

3番「結婚支援事業」は、官民の取組を整理した上で、真に必要な支援策の検討を図るための委員会設置経費です。

36ページをご覧ください。

12番「育休退園廃止事業」は、保護者の育児休業取得に伴い、園児が退園とならないよう職員を配置するための人工費の増額経費です。

13番「保育士待遇改善確保事業」は、子育て環境充実のため、保育士確保に向けた保育士就労奨励金などの経費です。

37ページをご覧ください。

20番「野沢児童館・子育て支援拠点施設整備事業」は、子育て支援に係る複合的機能を有した野沢児童館・子育て支援拠点施設整備のための建設工事費などです。

38ページをご覧ください。

26番「佐久地域平日夜間急病診療センター運営負担事業」は、浅間総合病院へ設置する佐久医師会・小諸北佐久医師会と11市町村、佐久広域連合との連携による「平日夜間急病診療センター」の運営負担に係る経費です。

次に40ページをご覧ください。

項目5「快適な暮らしを創る環境豊かなまちづくり」です。

1番「食品ロス対策事業」は、デジタル技術により食品ロスを削減するフードシェアリングサービスの利用促進のための経費です。

41ページをご覧ください。

7番「省エネ家電製品普及促進事業」は、温室効果ガス排出量の削減に資する省エネ家電製品の買い替えに対する補助対象項目に「エアコン」を追加したことによる経費の拡充です。

次に42ページをご覧ください。

項目6「暮らしを守る安心と安全のまちづくり」です。

1番「防災行政無線同報系設備更新事業」は、防災行政無線同報系設備の更新に係る工事経費で対象は東・望月地区です。

6番及び43ページ7番の「社会資本整備総合交付金道路整備事業」

は、前年度に引き続き、入澤地区の谷川と常和地区的田子川における、令和元年東日本台風災害からの改良復旧に係る経費です。

次に45ページをご覧ください。

項目7「ひとと地域の力が生きる協働と交流のまちづくり」です。

1番「新佐久市誕生20周年記念事業」は、新佐久市誕生20周年を記念した記念式典等の実施するための負担金です。

4番「佐久でかなえたい みんなの夢事業」は、新佐久市誕生20周年を記念した子どもたちの夢の募集と夢の体験支援に係る経費です。

46ページをご覧ください。

8番「集落支援員設置事業」は、地域の課題解決及び活性化に資する活動を行う地域内の人材を、集落支援員として設置ための経費です。

13番「空き家等マッチングサイト構築事業」は、移住・定住を促進するための新たな空き家・空き地マッチングサイトの構築に係る経費です。

47ページをご覧ください。

14番から16番の各事業は、移住・定住の促進及びリモートワーカー等への新幹線乗車券等の購入に対する補助経費です。

18番「姉妹都市等交流事業」は、モンゴル国スフバートル区姉妹都

市提携調印に係る経費のほか、姉妹都市等との親善交流に係る経費です。

以上、令和6年度の当初予算(案)の概要を申し上げました。地方財政を取り巻く環境は引き続き厳しい状況にありますが、これまでの考え方や価値観が大きく変化する中、時代の変化やニーズを的確に捉え、佐久市が将来にわたり持続可能で安定した行財政運営を行っていくための予算案といたしました。

私からの説明は、以上です。